

利根沼田地域計画

1 地域の概要

- 利根沼田地域は群馬県北部に位置し、沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町の1市1町3村からなり、総面積は1,766㎦で県土面積の27.7%を占め、夏季は冷涼で、昼夜の温度差が大きい中山間地特有の気候風土を有しています。
- 農業は、赤城山北西麓で、レタス、ほうれんそう、えだまめ、だいこん等の夏秋野菜やこんにゃくいもを主体とした大規模な畑作経営が行われており、その他の地域では、観光客が多く訪れることから、りんご、ぶどう、ブルーベリー等の観光果樹園を中心とした観光農業が盛んです。水田作においては、県内トップクラスの良食味米のブランド産地として認識されており、中山間地域の特徴を活かした多彩な農業経営が展開されています。近年は農業用水を利用したトマト、パプリカ及び花きなどの施設栽培も盛んに行われています。
- 群馬県農業産出額における利根沼田管内の占める割合は14.8%であり、工芸作物（こんにゃく）が全体の51%と最も高い割合を占め、次いで果樹37%、野菜21%となっています。これは標高差や夏季の冷涼な気象条件等の地域特性を活かした農業が盛んであることを示しています。



片品村のトマト

2 現状及び課題

- 管内の中山間地域は、農地条件が不利であることや、野生鳥獣被害などから耕作放棄地化の進行が懸念されています。
- 管内の生産基盤状況は、農業用水源に乏しいことから国営及び県営事業により水田と畑地にかんがい施設が整備され、水稲と野菜産地が形成されました。しかし、これらの基幹的な農業用排水施設の老朽化及び豪雨・地震の現行基準を満たさない防災重点ため池があることから、長寿命化対策と自然災害に対応した豪雨・地震対策の推進が急務となっています。
- 特に赤城北ろく地区の末端用水施設において、安全性が課題である石綿セメント管が多く使用されていることから、石綿セメント管の計画的更新が急務となっています。



畑地かんがいによる散水状況
(昭和村：赤城北ろく用水)

3 地域における施策の展開

(1) 農業の収益性向上を図る生産基盤整備

- 遊休農地化が進行する中山間地域の牛の平地区（片品村）において、農業用水整備及び区画整理を完成させ担い手への農地集積・集約化15ha及び高収益作物の導入を推進します。
- 上宿原地区（川場村）において、区画整理6haを完成させ担い手へ農地を5ha集積します。



整備前の遊休農地の状況（片品村：牛の平地区）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
生産基盤整備事業を契機に担い手へ集積する農地面積	2ha	20ha

(2) 持続的な農業用水の安定供給

- 沼田平1期・2期、追貝平地区（沼田市）で機能保全計画に基づく農業水利施設の長寿命化対策を完成させ、農業用水の安定供給を行います。
- 沼田平、赤谷川沿岸、追貝平の各土地改良区における維持管理計画書の見直しを支援します。



施設監視

監視計画に基づく施設監視の実施状況
（昭和村：赤城北ろく用水）



長寿命化対策

長寿命化が図られた施設（沼田市：赤城北ろく用水）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
基幹農業水利施設の長寿命化等対策工事を完成させる地区数	3地区	6地区

(3) 安全安心な農村づくり

- 防災重点ため池（28箇所）のハザードマップの作成及び地域住民への周知を支援し、地域の安全安心を確保します。また、豪雨・地震における詳細調査を支援し、対策が必要とされた防災重点ため池の豪雨・地震対策を推進します。
- 池田、宇楚井地区（みなかみ町）でため池の豪雨・地震対策工事を完成させ、地域の安全安心を確保します。
- 権現上・下地区（みなかみ町）、鎌田地区（片品村）、沼田西部地区（沼田市）でため池の豪雨・地震対策工事に着手し、地域の安全安心を確保します。
- 赤城原、北ろく赤谷地区（昭和村）については、経年劣化した石綿セメント管を硬質塩化ビニル管等へ取り替え工事を完成させ、石綿の飛散による健康被害を防止し、地域の安全安心を確保します。



豪雨・地震対策工事实施中の防災重点ため池
（みなかみ町：池田ため池）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
ハザードマップの作成及び豪雨・地震における詳細調査を完了させる防災重点ため池数	2箇所	28箇所

(4) 魅力ある農村の構築

- 多面的機能支払交付金を活用した、農地や水路等の維持・保全に取り組む地域の協働活動を支援し、3,784haにおいて農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮を図ります。
- 糸井・三ツ谷地区（昭和村）、花咲地区（片品村）で最適整備構想に基づく、農業集落排水施設の機能強化対策を支援し、農村環境の保全を図ります。



農地維持活動の状況
（みなかみ町：東峰むらづくり推進協議会）



農地維持活動の状況
（昭和村：昭和第1地区環境保全推進協議会）

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
農地・農業用施設の維持・保全が図られた農地面積	3,465ha	3,784ha

(5) 地域資源を活かした中山間地域の振興

- 真沢、藤原地区（みなかみ町）、富士山地区（川場村）において、棚田（畑）保全活動を支援します。
- 中山間元気創生基盤整備構想を基に片品村上郷地域の農業、地域振興を支援します。



利根実業高校との棚田保全活動
（みなかみ町：真沢地区さなざわだんだんの会）



冬の棚田に竹灯籠を燈す都市交流イベント
（川場村：富士山地区富士山集落活性化協議会）

4 地域の重点取組

昭和30年代から40年代にかけて、農業用管路として設置した石綿セメント管を硬質塩化ビニル管等へ敷設替えることにより、石綿の飛散による健康被害を防止し、地域の安全と農業用水の安定供給を図ります。

- 赤城北ろく用水の赤城原、北ろく赤谷地区（昭和村）については令和5年度までに完成させ、地域の安全安心を確保します。
- 赤城北ろく用水の追分・松之木平地区（昭和村）及び沼田平用水の沼田平平出地区（沼田市）については、令和5年度までに着手し、地域の安全安心を確保します。
- 赤城北ろく用水の東中野・二本松地区（昭和村）については、長期的な計画に基づき事業推進を図ります。



石綿セメント管の破損状況（昭和村・赤城原地区）



石綿セメント管から塩ビ管への敷設替え状況

数値目標	H30（基準年）	R7（目標年）
石綿セメント管の敷設替え完成延長	1.6km	36.0km